

内部監査としての不正対応の 内容と範囲を決定する

「経営を支える内部監査の8つの重点課題とその対応策」〔第5回開催分（全8回開催）〕

- 日 時 ● 2015年4月7日（火）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会 『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人における約20年の会計監査への従事と10数年にわたる内部監査、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、ABボルボのコーポレートオーディット日本担当ダイレクターおよびUDトラックス株式会社 監査役として内部監査の統括及び監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆、講演活動にも従事。最近の著書に『内部監査の課題解決法 20』税務経理協会。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講演／内部監査としての不正対応の内容と範囲を決定する<14:00-16:00>

内部監査部門にとって不正対応は、避けて通れない重要課題の一つですが、何をどこまでやればよいか判断の難しい分野でもあります。ここには監査における不正リスク対応だけでなく、企業として行う不正リスク評価や通報対応あるいは不正調査に内部監査がどう関わるかという問題も含まれています。今回はこれらの広汎に及ぶ不正対応活動についてその内容や実施方法について理解を深めるとともに、内部監査にふさわしい立ち位置や関与の仕方を検討する材料を提供いたします。まず企業全体の不正対応制度とそこで重要となる対応活動（不正リスク評価、不正監査、不正調査）のそれぞれ考え方や作業内容をそこで利用する手法や書式を含めて、実際の事例を紹介しながら解説いたします。それからこれらの活動の相互関係、内部監査人の関わり、実務上の留意点等を検討いたします。

1. 企業の不正防止制度と不正対応活動（不正リスク評価、不正監査、不正調査）および各部署の関わり方
 - ①不正防止のハード面（制度）とソフト面（活動） ②法的側面（経営判断の原則） ③不正リスク評価の実務 ④不正の定義と分類 ⑤IIAプラクティスガイドによる贈収賄への対応、他
2. 不正監査の内容と切り出し方、実務ノウハウ（不正後の内部統制レビューの事例）
 - ①内部監査人の不正対応（IIA指針の要請） ②不正監査のプロセスと留意点 ③防止策レビューの実務、他
3. 不正調査の進め方、社内通報制度への対応（事例紹介）
 - ①不正調査の実務と内部監査人の留意点 ②通報調査の仕組みと対応 ③社内スキルと外注するスキル、他

●講演をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00-17:00>

～参加各社の対応事例や現状の問題意識をシェアする中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社） 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

140188	2015 4/7 経営を支える内部監査の8つの重点課題と～		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			